

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2000-506496

(P2000-506496A)

(43) 公表日 平成12年5月30日 (2000.5.30)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テーマコード (参考)

A 6 1 K 31/198

A 6 1 K 31/195

6 0 3

A 2 3 L 1/305

A 2 3 L 1/305

A 6 1 P 5/36

A 6 1 K 31/00

6 0 6 F

A 6 1 K 38/00

37/02

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 61 頁)

(21) 出願番号 特願平9-518215  
 (86) (22) 出願日 平成8年10月24日 (1996.10.24)  
 (85) 翻訳文提出日 平成10年5月11日 (1998.5.11)  
 (86) 国際出願番号 PCT/US96/17241  
 (87) 国際公開番号 WO97/16983  
 (87) 国際公開日 平成9年5月15日 (1997.5.15)  
 (31) 優先権主張番号 08/556,035  
 (32) 優先日 平成7年11月9日 (1995.11.9)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)  
 (31) 優先権主張番号 08/695,792  
 (32) 優先日 平成8年8月12日 (1996.8.12)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 ザ ボード オブ トラスティーズ オブ  
 ザ リーランド スタンフォード ジュ  
 ニア ユニバーシティ  
 アメリカ合衆国 94304-1850 カリフォ  
 ルニア州 パロ・アルト、ウエルチ・ロー  
 ド900番 スウィート350

(72) 発明者 クーク ジョン ビー  
 アメリカ合衆国 カリフォルニア州  
 94306 パロ アルト ベン ロモンド  
 ドライヴ 4022

(74) 代理人 弁理士 中村 稔 (外6名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 内因性酸化窒素の生成又は活性のモデュレーションによる血管機能の増強

(57) 【要約】

ホストにおいてNO誘発弛緩経路での内因性酸化窒素又は他の中間体のレベルを高める生理的に許容しうる化合物を長期投与することにより、血管の機能と構造が維持又は改善される。また、直接或いは生理的過程で酸化窒素の短期増進を与える他の化合物も組合わせて投与される。前駆アミノ酸をバルーン (12) の内室 (13) へバルーン管腔 (14) を介して導入することにより再狭窄を予防する壁内法が提供される。膨張中、バルーン (12) は血管壁 (15) に対向して外に押圧し、該前駆アミノ酸は血管壁 (15) に導入される。

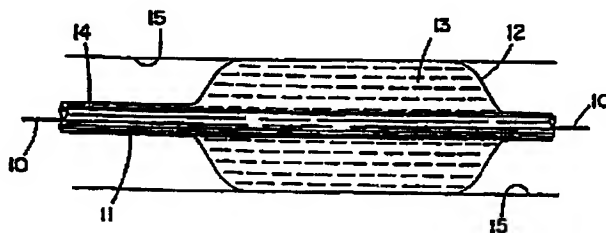


FIG. 15